

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	年次	1年次
	必修	必修	総合選択	自由選択	
使用教科書	第一学習社『新編 現代の国語』				
副教材等	第一学習社『新編現代の国語 学習課題集』、 尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』、第一学習社『カラー版 国語便覧』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をととして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付けます。
- ・社会や他者とかわる中で必要となる、論理的思考力や筋道立てて説明する力、想像力を働かせて他者に共感したり理解したりする力を伸ばします。
- ・実社会で生きていくために必要な国語の知識や技能を身に付けます。

3 指導の重点

- ・文章の読解や言語活動をととして、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深められるようにします。
- ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に関わったりすることへの積極性を育むとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深められるようにします。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」において、論理的思考力、共感力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	新しい出会い	4「C 読むこと」	『『未知』はいくらでもある』	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え要旨を把握する。	4	・話し合い ・発表

				・筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。		・授業への取り組み方 ・発問への解答 ・提出物 ・小テスト
		4「A 話すこと・聞くこと」	「ナマケモノになる」	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確する。	4	
5	話して伝える	8「A 話すこと・聞くこと」	話し方の工夫 待遇表現	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。	8	
6			論理的な表現	・主張と理由の関係性や妥当性について理解する。		
	書いて伝える	4「B 書くこと」	書き方の基礎レッスン	・表記・表現の基本ルールを理解する。	4	
7	言葉が開く世界	6「C 読むこと」	「言語としてのピクトグラム」	・言語表現の多様性について考えを深める。	6	
8	話して伝える	6「A 話すこと・聞くこと」	スピーチで自分を伝える	・効果的な表現について考えを深める。	6	
9	生活の中の表現	4「B 書くこと」	法律の改正に関わる文章を読み比べる	・情報を相互に関係づけながら解釈する方法を学ぶ。	4	
10	書いて伝える	8「A 話すこと・聞くこと」	身近な製品の取扱説明書を作成する 地域の魅力を紹介する	・情報を的確に相手にわかりやすく説明する方法を学ぶ。 ・情報や資料を収集・整理し活用する方法を理解する。	8	
11	社会と人間	4「C 読むこと」	「人はなぜ仕事をするのか」	・筆者が述べる仕事の本質について考察し、働くことについての考えを深める。	4	
12	現代と社会	6「B 書くこと」	『『材料科学』のゆくえ』	・科学の発展と人間との関わりについて考えを深める。	6	・話し合い ・発表 ・授業への取り組み方 ・発問への解答 ・提出物 ・小テスト
		4「B 書くこと」	「イースター島にはなぜ森がないのか」	・イースター島の歴史について理解し、筆者の提示する人類と生態系の在り方を理解する。	4	
1	論理分析	4「B 書くこと」	「日本語は世界をこのように捉える」	・具体例を多用した論理の展開について理解する。	4	
2	論理分析	4「B 書くこと」	「AIは哲学できるか」	・文章を分析的に読み、要点をまとめる。	4	
3	書いて伝える	4「B 書くこと」	社会に対する意見文を書く	社会に対する自分の考えを持ち、論理的に伝える。	4	

計70時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」	B 「書くこと」	C 「読むこと」
	26 時間	30 時間	14 時間

6 課題・提出物等

- ・副教材「常用漢字ダブルクリア五訂版」から漢字小テストを実施する。
- ・タブレット端末を使用し、グーグルクラスルーム等指示された方法で課題を提出する。(適宜担当の指示に従うこと。)
- ・長期休業中の課題も答え合わせをして提出することとする。

7 担当者からの一言

私たちは言葉を使って考え、理解し、伝えます。社会の一員として生きていくために必要な国語の力を一緒に養い身に付けていきましょう。